

(1) 工事コストの低減

コンクリートトラフから軽量トラフへの仕様変更によるコスト縮減

帝都高速度交通営団 11号線電気工事

[施策の概要]

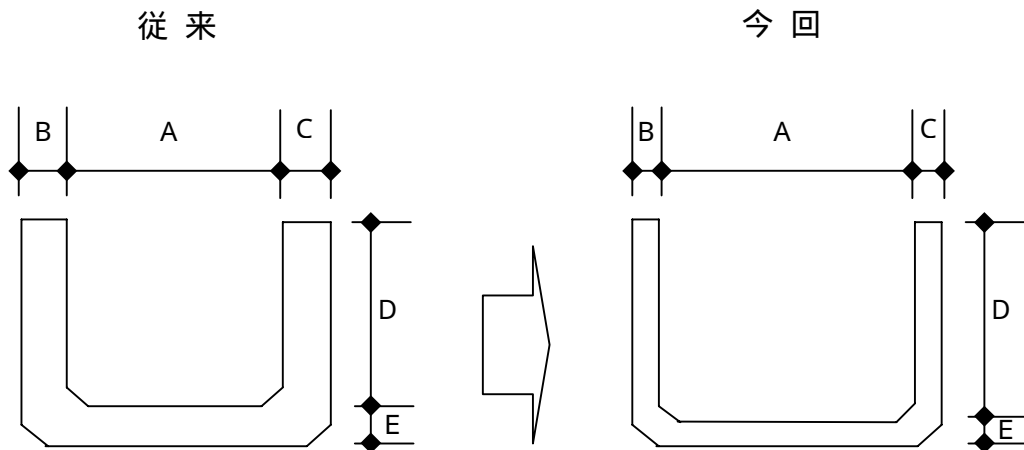
現在、コンクリートトラフはJIS規格に基づいて製作された標準コンクリートトラフを使用しているが、標準コンクリートトラフより肉厚が薄く、ケーブル収容量が大きく且つJIS規格に適合する軽量トラフが開発されたので、価格は若干高めではあるが、導入の検討をした。

試験的に営業線に導入し効果を確認した結果、有効であると判断でき、また、軽量であることから敷設費用(労務費)及び搬入費用の縮減が図られることから、軽量トラフを本格的に導入し、コスト縮減を図ることができた。

[施策のポイント]

- ・従来のコンクリートトラフと比較すると、約20%程度軽量化することができ、コスト縮減が図られた。

[施策のイメージ図]



A	150mm
B	30mm
C	30mm
D	120mm
E	30mm
重量	30.5kg

150B(500mm)

A	164mm
B	23mm
C	23mm
D	135mm
E	25mm
重量	24.0kg

K164(500mm)

*重量については本体及び蓋を含む。